

暮らしの変化と「荻外荘」

入澤達吉の生活と伊東忠太の住宅観

(株)竹中工務店 設計本部 アドバンストデザイン部

伝統建築グループ 山野敬史

令和2年11月27日

荻窪の歴史的な建物と「荻外荘」の立地





現在の荻外荘

講演の大まかな流れ

「荻外荘」という昭和2年に建設された住宅の建築的特徴を生活者や設計者の観点から読み解き、歴史的な位置づけを行いながら、最後結論として伊東忠太の住宅設計の特徴を明らかにしようとするもの

近代日本住宅史を理解するための キーワード

「近代化」と「洋風化」

近代化：①住宅のもつ機能の変化
②住宅に対する考え方の発展

洋風化：①椅子式の導入
②洋風住宅意匠の模倣

動画

著作権の関係で掲載できません。

ご了承下さい。

1_ 「荻外荘」の概要と歴史的変遷 p.7-18

2_ 「荻外荘」建設の背景 p.19-23

3_ 創建時の「荻外荘」にみる建築的特徴 p.24-39

4_ 「間取」からみた「荻外荘」 p.40-44

5_ 暮らしの変化と入澤家 p.45-63

6_ 伊東忠太の住宅観と「荻外荘」 p.64-76

※ 「荻外荘」という名称は近衛文麿が住み始めたあと、西園寺公望が名付けた名称であり、創建時は入澤達吉により「楓荻凹処」と呼ばれていた。今回の講演では一般に馴染みのある名称を用いるため「 」付きで「荻外荘」と称する